



だっこ通信

第34号

2023. 5月発行



だ いじょうぶ・つ ながる・こ そだて



子どもの「イヤ」には理由がある？

★こういうこと、よくあるよね・・・

Aちゃん、あやしても泣いてばかり。

Bくん、全身でバタバタ。

Cちゃん、怒って泣いてギャー！

痛いよ～！
気持ち悪いよ～！



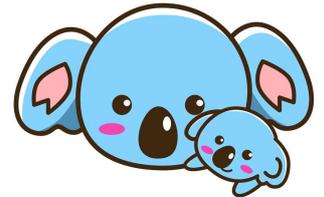
もっと電車に乗りたい！
降りない！



今日はママとお出かけ
しなかった！



子どもが言うことを聞かないと、ほんとに困るよね。親も泣きたくなっちゃう。でも、何か理由があるのかも・・・。子どもの心の中をちょっとのぞいてみよう。



オンブー

Aちゃんはまだ赤ちゃん。言葉で体調不良を訴えられないから、泣いて伝えるしかできない。自分でもどうしたらいいか、分からないんだね。

Bくんは電車に乗ることが大好きなんだね。だから、もっと長く乗っていたかったのかあ。「駅に着いたよ。降りるよ。」って言われて、すごく悲しくなってしまったんだね。

Cちゃんのママは急に用事が入ってしまった、出かけられなくなってしまったんだね。でも、そういう事情をCちゃんはまだ理解できないから、お出かけを楽しみにしていた気持ちを押しえられないんだね。



オンブーのつぶやき



泣いたりぐずったりするのは、自分の気持ちや状態を訴えるサインなんだね。気持ちを分かかってほしい、自分を見てほしい、ぐあいが悪いから助けて、言葉の意味が分からない・・・など、理由はさまざまあるんだなあ。



これまで親の都合や感情で、ついイライラしてしまったことがあるなあ。(プチ反省)これからは「困った子」と決めつけず、子どもの気持ちをもっと考えていくようにしよう。オー！

発行者: さくら市生涯学習課(担当 鈴木)